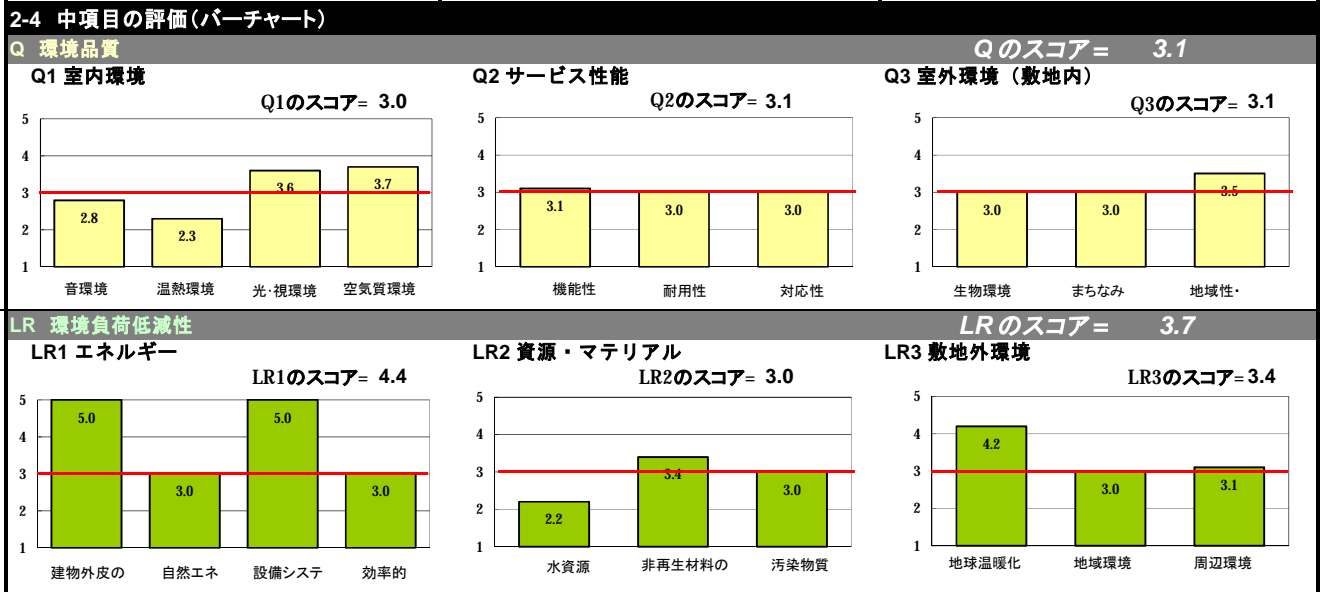
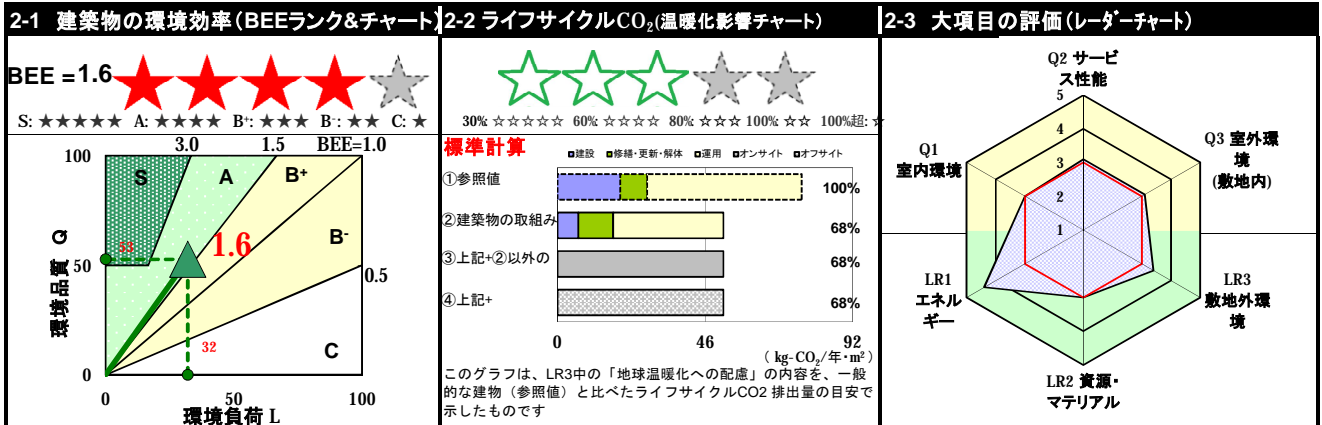


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)八尾市桜ヶ丘3丁目 新築工事	階数	地上13F
建設地	大阪府八尾市桜ヶ丘3丁目	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	288 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2021年5月24日
敷地面積	1,741 m ²	作成者	株式会社都市建
建築面積	625 m ²	確認日	2021年5月25日
延床面積	5,801 m ²	確認者	株式会社都市建



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また、高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>外皮性能として、住居部分は強化外皮基準を満たす計画とし省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内には適切に緑化を施すことで地表温度上昇を極力抑える計画とした。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>コージェネレーションシステム等の高効率設備を採用することで省エネルギーに配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>GL工法により、躯体と仕上材を容易に分別可能とし、部材の再利用可能性向上へ取り組んでいる。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>適切な量の駐車場を設置して交通負荷抑制に努めた。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0025

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)八尾市桜ヶ丘3丁目 新築工事					
		建設地	大阪府八尾市桜ヶ丘3丁目					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					5		
④	エネルギー削減					5		
⑤	自然エネルギー直接利用					○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.2	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項		外皮性能として、住居部分は強化外皮基準を満たす計画とし省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。						